

日刊メタルレポート

発行所
株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表
購読料 半カ年44,100円(前納) 3カ月22,050円



東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社
□本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL: 06-6683-8828
□南港事業所
TEL: 06-6613-8838
□千葉支店
TEL: 0436-76-7277

グループ会社

□東北エント株式会社
兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL: 079-271-5025
www.tohoku-ent.com
□東北ライド株式会社
愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田
字大海用172番
TEL: 0567-94-5688

自動車販売が遂にプラス転換

新設住持家が引き続き二ケタ増 宅着工持家が引き続き二ケタ増

橋本金属
アルミ 橋本健一郎氏リポート①

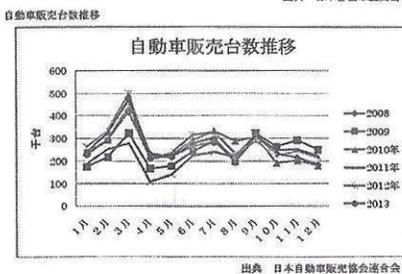
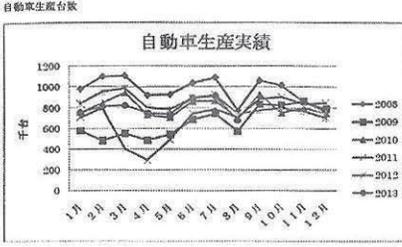
【概況】九月前半は八月の中国・製造業担当購買者景況指数(PMI)が前月比〇・七増の五一・〇で一カ月連続の五〇を超えたこと、八月のHSBC中国サービ部門PMIは五二・八に上昇、五カ月ぶりの高水準だったこと。さらに八月の中国貿易黒字が二八六億ドルと予想の二〇〇億ドルを上り、輸出は前年比七・二%増、輸入は一・三%増と中国景気後退懸念を払しょくしたものの、ロシアのプーチン大統領が二〇カ国・地域(G20)首脳会議(サミット)後の記者会見で、米国が軍事介入した場合でもロシアはシリアへの支援を継続するとの表明を嫌気して下落、七・〇二八ドル(セツル)と前月最終価格より六七ドル下げての前半締めとなった。

後半はセントルイス連銀総裁が十月のFOMCで金融緩和の可能性があると言及、アメリカの連邦債務の上限問題を巡る米与野党の交渉が難航するとの警戒感や金融緩和縮小懸念など悪材料の中、九月のHSBC中国製造業PMI速報値は五二・二に上昇したこと、ロシアのシリアの化学兵器廃棄を二〇一四年半ばまでに廃棄させる枠組みで合意したこと、さらに債務上限問題により米連邦政府機関の一部が閉鎖される可能性からのドル安を好感し上昇。十月一日現在、前半締めから二六二ドル上昇の七、二九一ドルと急騰、銅建値七六万円のスタートとなった。

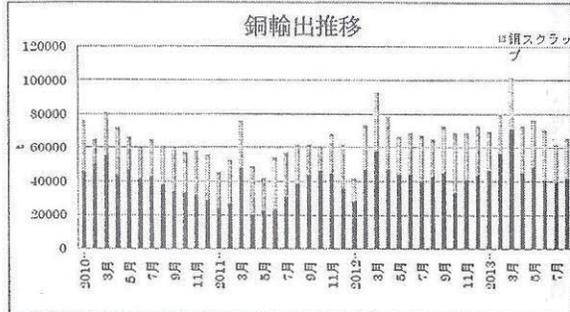
■前月の経済指標
◆自動車生産台数
日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前年比七・六%減の六八万〇、四八七台であった。
◆自動車販売台数
日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比二・四%増の三二万四、三一五台。(二面へ続く)

	6月	7月	8月
生産台数	60万4125台	61万246台	68万487台
前年比	-10.1%	-1.4%	-7.6%

	7月	8月	9月
販売台数	28万4314台	21万7411台	32万4315台
前年比	-13.5%	-6.4%	+12.4

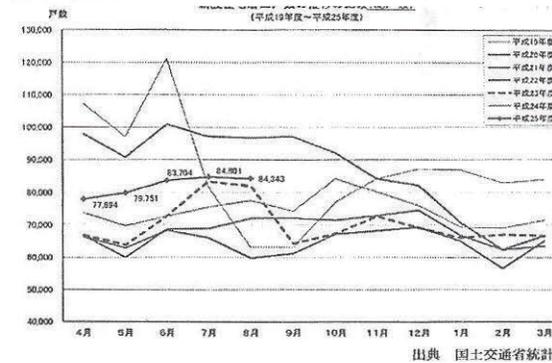


輸出	6月	7月	8月
電気銅	4万774 t	3万9694 t	4万1998 t
前年比	-6.0%	-0.7%	-1.7%
スクラップ	3万127 t	2万2602 t	2万3868 t
前年比	+16.3%	-17%	+6.9%



◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電気銅が一・七%減、四万二、九九八t、ス

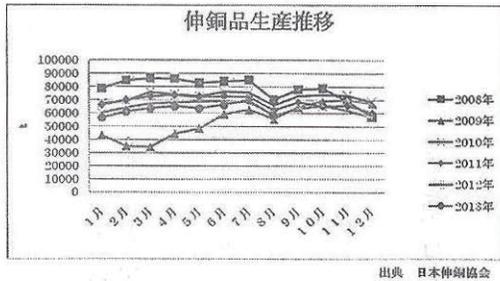
◆新設住宅着工戸数	6月	7月	8月
新設住宅着工数	8万3704戸	8万4459戸	8万4343戸
前年比	+15.3%	+12%	+8.8%



(一面より続く)
◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比八・八%増の八万四、三四三戸であった。

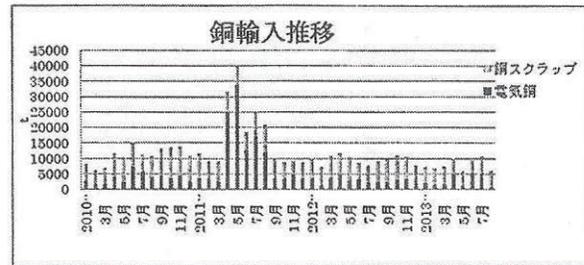
銅の電気銅の輸入が反動で急減 伸銅品生産増、電線出荷は減少

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前年比一・四%減の五万四、九〇〇tであった。(八面へ続く)



前月の国内指標
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年比〇・八%増の五万八、五九〇t。

輸入	6月	7月	8月
電気銅	5416 t	5287 t	901 t
前年比	+66.2%	+151%	-63.3%
スクラップ	3964 t	5762 t	5238 t
前年比	-28.7%	-1.4%	-22.4%



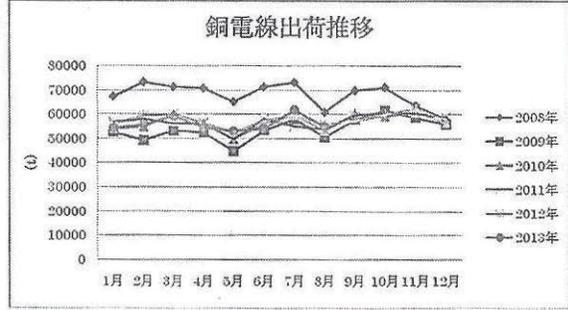
クラップが六・九%増の二万三、八六八t。輸入は電気銅が前年比六三・三%減の九〇一t、スクラップが二・四%減の五、二三八t。

出典 財務省 貿易統計

国内の銅供給 今後供給不足拡大の可能性も？

(二面より続く)

銅相場は七、〇〇〇〜七、四〇〇ドルか



出典 日本電線工業会

【見通し】
 九月はアメリカとロシアのシリアの核兵器廃絶に向けての法案で合意や米連邦政府の債務上限引き上げ問題に一喜一憂した月となった。

米国の強硬姿勢への警戒感や米連邦政府債務引き上げが不能となった場合の混乱への警戒感から。

自動車生産は前年比七・六%減の一二カ月連続マイナス。乗用車九・二%減、トラック一・五%増、バス一・七%増。

販売の方はついに前年超え、前年比一二・四%増。乗用車一二・七%増、貨物一〇・七%増、バス一三・三%増。

新設住宅着工戸数は先月に続き一二カ月連続増加、前年比八・八%増(季節調整済み前月比一・九%減)の八万四、三四三戸。今月も堅調な住宅関連。持家一一%増、貸家七%増と大幅増。

消費税導入前の駆け込み需要から。

伸銅品生産量は前年比〇・八%増の五万八、五九〇tと二カ月連続前年を上回る。輸出は円安を追い風に五カ月連続前年プラスの一・二・八%増。

銅電線出荷量は、前年比一・四%減の五万四、九〇〇tと一カ月ぶりマイナス。うち国内一・四%減。輸出が一・七%減。建設・電販が四・四%増。電気機械六・二%減、通信一・六%増、電力二・七%減。

輸出に関しては、電気銅輸出が前年比一・七%減の四万一、九九八tと減少。銅スクラップは六・九%増の二万三、八六八t。円安で輸出環境であり、また国内需要家もいまいち生産が改善されてこないことへの警戒感から買い気薄。

輸入は電気銅が六三・三%減の九〇一t。スクラップは二二・四%減の五、二三八t。先月輸入が大幅に増えたことへの反動と国内生産への減少から。

【銅需給に関して】

住宅関連は新設住宅着工数が前年比八・八%増と一二カ月連続増加、持家一一%増、貸家七%増と好調。待望の自動車は生産が一二カ月連続前年割れの七・六%減。だがついに九月の国内販売台数が前年一二・四%増と大幅増。販売増につられて生産が伸びるものもほぼ確実で、住宅、自動車の二本柱が復活した今後供給不足が拡大する可能性が高い。

【銅価格に関して】

今月は米債務上限引き上げ問題と米FRB金融緩和と縮小開始、そしてイタリア連立政権崩壊懸念に伴う欧州ショックに左右される。

債務上限引き上げ問題は前回同様解決することは、ほぼ間違いなく時間の問題。金融緩和と縮小も発言が二転三転しておりマーケットも若干織り込み済みでは？

欧州ショックに関しては景気回復は進んでおりマイナスは限定的との判断。

それらを踏まえた銅価格は債務上限引き上げによるドル安から、もう一段高の九月後半高値付近の七、四〇〇ドルを予測。

下値はFRBによる金融緩和と縮小開始とイタリア連立政権が崩壊が起こった場合、もう一段安の七、〇〇〇ドルを予測。

為替は債務上限引き上げ、金融緩和と縮小開始、欧州ショックによるドル高から、Ave九八円との予測。

銅建値に関しては七二〇〜七六〇円程度と予測している。

◇KLT M ず相場

二日 二三・一〇〇 米ドル
二〇 トン

◇東工取 (二日前引、限月十月)

金 四、〇六三円
銀 六六・一〇
白金 四、三七五円
パラジウム 二、二六七